

No	テーマ	内容	対象者			大学等名称	学部	氏名		問合せ先
			小学生	中学生	高校生					
1	養育環境が子供の脳発達に及ぼす影響 (担当:三木崇範、鈴木辰吾、太田健一、大給日香里)	当研究室の研究データを踏まえ、母子分離に焦点をあてて幼少期の養育環境の重要性を説く。	—	—	○	香川大学	医学部	教授	三木 崇範	香川大学 地域連携推進課
2	アルコールが脳に与える影響 (担当:三木崇範、鈴木辰吾、太田健一、大給日香里)	妊婦が摂取するアルコール(飲酒)により子供に精神神経発達遅滞をはじめ様々な影響をもたらす。これを胎児性アルコール症候群と称している。研究結果をもとに脳の発達に及ぼす影響について概説する。	—	—	○	香川大学	医学部	教授	三木 崇範	香川大学 地域連携推進課
3	解剖学者が語るヒトの解剖学—身体の構造を知る (担当:三木崇範、鈴木辰吾、太田健一、大給日香里)	ヒトの体の構造に関して、器官系(循環器系・呼吸器系・消化器系・尿路生殖器系・神経系・筋骨格系・内分泌系など)に分けて系統的に概説する。	—	—	○	香川大学	医学部	教授	三木 崇範	香川大学 地域連携推進課
4	動ける体を科学する—運動器と健康寿命の最前線	超高齢社会を迎えた日本では、「元気に動ける時間＝健康寿命」をいかに延ばすかが大きな課題となっています。その鍵を握っているのが、骨・関節・筋肉などからなる「運動器」です。運動器は、歩く・立つ・走るといった私たちの毎日の動きを支える重要なしくみです。本講演では、運動器がどのように働いているのか、なぜ年齢とともに不調が起こるのかをわかりやすく解説し、健康寿命の延伸を目指した最新の研究成果についても紹介します。	—	—	○	香川大学	医学部	教授	味八木 茂	香川大学 地域連携推進課
5	免疫細胞マクロファージによる異物取り込み機構	顕微鏡観察により明らかになったマクロファージの食食制御タンパク質の細胞内動態について紹介する	—	—	○	香川大学	医学部	講師	江上 洋平	香川大学 地域連携推進課
6	蛍光ラベルにより見えてくる細胞内の世界	無色透明な細胞内の構造物を様々な蛍光標識を施し蛍光顕微鏡で観察を示すことで、細胞内小器官の形態や活発な動きについて解説する	—	○	○	香川大学	医学部	助教	川合 克久	香川大学 地域連携推進課

7	「こころ」のなりたちを探るーそのメカニズムと調べ方	私たちの「こころ」の住まいである脳がどのようにできているか、どのように調べるのか、どのようなことで病気になり、どのようにして治し方を探っていくのか、概説します。	—	—	○	香川大学	医学部	教授	山本 融	香川大学 地域連携推進課
8	なぜ、人はがんになるのか(がん細胞発生のメカニズム)	正常細胞からがん細胞が発生するまで、遺伝子レベルでの変化に着目し解説します。また、そのような遺伝子変化を起こす要因やその予防についての話も盛り込みます。	○	○	○	香川大学	医学部	教授	横平 政直	香川大学 地域連携推進課
9	おこげを食べると本当にがんになるのか?(食品の安全について)	食品の安全性について、食品添加物の安全性・危険性を含め、わかりやすく解説します(演者は「内閣府食品安全委員会添加物調査会の専門委員」です。)注意すべき食品等についても紹介します。	○	○	○	香川大学	医学部	教授	横平 政直	香川大学 地域連携推進課
10	精神疾患、認知症など	その病気の特徴、症状、診断や治療など	○	○	○	香川大学	医学部	教授	角 徳文	香川大学 地域連携推進課
11	ここまで分かった脳の病気	アルツハイマー病やパーキンソン病などの加齢に伴い増加する脳の病気についての最近の研究・治療の進歩について、基礎と臨床の両面から解説する。	—	—	○	香川大学	医学部	准教授	千葉 陽一	香川大学 地域連携推進課
12	もっとよく傷を治すには (担当:村上龍太)	基本的な創傷治癒学と、臨床経験から家庭での傷の処置を講義する	○	○	○	香川大学	医学部	助教	村上 龍太	香川大学 地域連携推進課

13	臓器提供・臓器移植について	臓器提供に関する啓発です。	—	○	○	香川大学	医学部附属病院	病院准教授	祖父江 理	香川大学 地域連携推進課
14	1)たばこの健康被害について 2)静脈血栓塞栓症について 3)ダイバーシティ	1)タバコの健康被害について(小学生・中学生向け) 2)静脈血栓塞栓症(下肢静脈血栓症と肺塞栓症)について(一般向けの健康講座) 3)医師という仕事:女性の立場から(中学生、高校生向け)	1)3)○	1)3)○	—	香川大学	医学部附属病院	講師	石川 かおり	香川大学 地域連携推進課
15	①がんについて、②放射線について、③新しいがん治療の進歩について	①がんについて学び、がんを通して命の大切さを知る ②放射線について正しく理解する、③がん治療の進歩。医学・医療について(受講対象者に応じて内容の変更は可能です)	○	○	○	香川大学	医学部附属病院	教授	柴田 徹	香川大学 地域連携推進課
16	①がんについて、②放射線について、③新しいがん治療の進歩について	①がんについて学び、がんを通して命の大切さを知る ②放射線について正しく理解する、③がん治療の進歩、医学・医療について(受講対象者に応じて内容の変更は可能です)	○	○	○	香川大学	医学部附属病院	学内講師	高橋 重雄	香川大学 地域連携推進課
17	すぐにできる!心肺蘇生	一般市民や子どもたちを対象に、すぐに活用できる心肺蘇生法を分かりやすく教えます。人形やデモのAEDを使って、心肺蘇生法を経験してみましょう。	○	○	○	香川大学	医学部附属病院	看護師長	國方 美佐	香川大学 地域連携推進課
18	ウイルスや細菌などの外敵から自分のからだを守る仕組み-免疫-の研究について	免疫は外敵から自分を守るだけでなく、アレルギーなどの病気を起こす原因にもなります。免疫の仕組みについて解説します。	—	—	○	香川大学	医学部	教授	星野 克明	香川大学 地域連携推進課

19	心肺蘇生とAED	心肺蘇生法とAEDの使用方法について説明します	1)○	1)○	1)○	香川大学	医学部	客員教授	辻 哲平	香川大学 地域連携推進課
20	楽しく学んで、楽しく実践、やさしい健康講座	1)糖尿病のはなし、2)運動のはなし、3)食事のはなし、4)こころのはなし、5)尿検査、便検査のはなし、6)健康診断のはなしの中から選択	—	○	○	香川大学	医学部	准教授	宮武 伸行	香川大学 地域連携推進課
21	人生100年のための未来医療	幸せに長生きするために必要なことや、新しい治療法の開発などを紹介します。	○	○	○	香川大学	医学部	教授	西山 成	香川大学 地域連携推進課
22	塩と健康問題	日本食に欠かせない食塩。その摂り過ぎが起す健康問題や病気について、最先端の研究状況を紹介します。	○	○	○	香川大学	医学部	助教	北田 研人	香川大学 地域連携推進課
23	小児生活習慣病予防健診を通じて家族を心筋梗塞から守る(こどもについて)	香川県小児生活習慣病予防健診を通じて家族性高コレステロール血症を早期診断・治療を行う取り組みについて説明し、こどもが将来心筋梗塞にならないための治療の重要性について概説する。	—	○	○	香川大学	医学部	助教	近藤 園子	香川大学 地域連携推進課
24	「医療という職業について」	医療に関わる種々の職種(病院内・病院外)の説明やそれぞれの関わり方、協調など	○	○	○	香川大学	医学部	客員教授	臼杵 尚志	香川大学 地域連携推進課

25	「医療技術とその進化や最新の技術、近未来の技術(機器の進化を含む)について」	太古から現在に至るまでの医療の進化やこれに関わった方々の努力・苦勞、現在の医療技術への関り、最新の医療技術と医療機器の関係と近未来に向けた展望・現在の研究	○	○	○	香川大学	医学部	客員教授	臼杵 尚志	香川大学 地域連携推進課
26	「命について」	生命の成り立ちとかけがえのなさ	○	○	○	香川大学	医学部	客員教授	臼杵 尚志	香川大学 地域連携推進課
27	「特殊な環境下での医療」	十分な医療体制を整えることができない状況の中での医療のあり方	○	○	○	香川大学	医学部	客員教授	臼杵 尚志	香川大学 地域連携推進課
28	脳と神経の機能と脳の病気	脳や神経の機能を説明します。また、乳児から高齢者にいたるまでの脳に生じる病気について、紹介するとともに香川大学医学部附属病院で行っている最新の検査(特に香川大学でしか行っていない各種のPET検査)や最新の医療機器を用いた治療について紹介します。	-	○	○	香川大学	医学部	教授	三宅 啓介	香川大学 地域連携推進課
29	医療シミュレーション体験	当院のスキルスラボセンターに整備されている医療シミュレーション器材を使って、医療に興味を持ってもらいます。	○	○	○	香川大学	医学部附属病院	スキルス ラボセン ター長	光家 努	香川大学 地域連携推進課
30	命を救うドクターヘリ～香川県ドクターヘリについて～	大切な命を救うために活躍しているドクターヘリ。ドクターヘリや、ドクターヘリに関わる人たちの仕事について、ご紹介します。人数や日程等が合えば、実際の機体をご覧いただくことも可能です(事前に要相談)。				香川大学	医学部附属病院	看護師長	國方 美佐	香川大学 地域連携推進課

31	天然発がんプロモーターの化学	天然に存在する植物、微生物、動物由来の発がんプロモーターの構造、活性、作用機構について。	-	-	-	香川大学	農学部	准教授	柳田 亮	香川大学 地域連携推進課
32	子供のがんのお話	小児期の病気で死因のトップである小児がんについて大人のがんと比較して説明します。	-	-	○	香川県立保健医療大学	保健医療学部	教授	岡田仁	香川県立保健医療大学 事務局 教務・学生担当
33	はたらかない免疫の不思議	免疫は、危険な異物である病原体やがん細胞などを排除して、からだを病気から守るしくみです。一方、食べ物や腸内共生細菌など、私たちのからだに必要な異物は、免疫反応によって排除されることはありません。しかし、本来ならば免疫がはたらかない異物に対して過剰に免疫反応が起こると、アレルギーを発症してしまいます。本講義では、免疫のONとOFFをコントロールするしくみと、アレルギーの関係について解説します。	-	○	○	徳島文理大学	香川薬学部	講師	中妻 彩	徳島文理大学高松駅キャンパス 地域連携センター
34	ワクチン ～からだ防衛軍を作ろう！～	感染症を予防するワクチン接種は、私たちの体に備った免疫記憶を利用した治療戦略のひとつです。免疫系は、戦ったことがある病原体を記憶し、再び侵入してきた同じ病原体を速やかに排除するしくみを備えています。本講義では、免疫系～からだ防衛軍～による感染防御と、それを利用したワクチンのしくみを解説し、最新のワクチン開発について紹介します。	-	○	○	徳島文理大学	香川薬学部	講師	中妻 彩	徳島文理大学高松駅キャンパス 地域連携センター